

河北潟の水辺保全活動をすすめるための 流域がつながる仕組みづくり

活動地域 石川県

ひろげる助成

3年目

実践

流域プログラム
参加人数 **70人**

無農業水田での
イベント参加人数 **67人**

今年度計画の達成度 **90%**

目標達成度 **90%**



1/19に実施した流域ツアープログラム

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

流域をめぐるツアープログラムでは、一日で違う地点を見比べることがより印象的なものになるが、移動時間も含めると時間配分が難しく、ルート、内容等の設定に苦労した。

■ 工夫した点

活動やイベントの案内は、これまでのようにチラシによる案内もしつつ、WEBでの広報に力を入れ、新たな参加者を得ることができた。

課題

河北潟の水質はここ30年ほど改善がすすんでいない。流域最下流部にある河北潟の水質改善のためには、流れ込む河川や水路の流域全体での取り組みが必要となる。

目標

- 河北潟の水質、水の流れへの流域住民意識が50%向上
- 2016年度比で水辺保全活動参加人数が20%増、流域で農業や化学肥料の使用削減した圃場が200%増

活動内容と成果

河北潟流域への理解、関心を高めるため、流域をめぐるツアープログラムを3パターン実施、計70人が参加、河北潟と流入河川や水路とのつながり、流域各地の自然環境について、楽しみながら学べるプログラムができた。活動1年目と今年度に、流域住民を対象に河北潟に関するアンケート調査を実施したが、3年目の方が普段の生活で川や河北潟の環境保全のためにしていることの総量が25%増えた。行動は意識の上になり立つことから、意識に関しては50%程向上したと思われる。身近な川が河北潟に流入することを知る人も約10%増えた。



潟と山の自然を見比べた流域ツアー

全助成期間の活動を振り返って

1年目、3年目に河北潟に関するアンケート調査を流域住民に対し実施したが、3年目の方が身近な川と河北潟がつながっていることを知っている人が約10%増えた。アンケート自体が、それまで河北潟にあまりなじみのない上流、中流地域の方に河北潟の環境や問題について知ってもらえきっかけとなったと考えられる。活動地域を河北潟周辺から流域に広げたことにより、河北潟の水辺保全活動全体の参加人数も増加傾向にある。



水の流れの始まりを探した河北潟流域ツアー

〒929-0342
石川県河北郡津幡町字北中条ナ9-9
電話：076-288-5803
E-mail：info@kahokugata.sakura.ne.jp
HP：http://kahokugata.sakura.ne.jp/



今後の
展望

河北潟流域という広い場を対象とした活動では、最初に河北潟を押し出すと、上流、中流地域ではなかなか「自分が対象である」という意識を持ってもらいにくいのか、対象地域住民に届きにくい面がある。まずは身近な川について意識してもらい、そこから下流の河北潟へのつながりを考えてもらえるようになればと思う。流域連携の土台として、流域各地で対象地域を狭く絞った小さなワークショップを実施していくことを展望している。